



天皇、皇后両陛下 桑折の桃農家を視察

天皇、皇后両陛下が7月16日、東日本大震災および東京電力福島第一原発事故からの復興状況を視察するために新幹線でご来県されました。視察が目的ではありませんでしたが、今回は両陛下の意向に沿った私的旅行。その中でも、桑折町の桃畑には両陛下たつての希望でのご訪問となりました。

2年前の7月23日、原発事故による風評被害に苦しむ桃農家激励のため本町を訪問されるはずだった両陛下ですが、前日夜半からの大雨により同一県内で大きな被害が出たことに配慮し、当日の朝、苦渋の決断でご訪問を取りやめたという経過がありました。

今回のご訪問は「どうしても2年前の続きがしたい。当時訪問できなかった桃畑で、直接農家の人と話したい。」という両陛下の強い希望により実現しました。

訪れた桃畑は、2年前にお迎えるはずだった、南祐宏さんの畑。南さんの出迎えで御料車を降りられた両陛下は、雨脚の強い中、仲むつまじく2人で一つの傘に入り桃畑を歩かれました。

ちょうどおいしそうに色づいた桃の下に案内された両陛下は、南さんから、桃の品種や、放射能対策とその成果の説明を受けると「大変でしたね」「もう安全ですわね」など言葉掛けられ、また途中、「袋はかけるのですか？」など積極的に質問されていきました。

降りやまない雨の中でしたが、ぬかるむ足元を気にされる様子もなく、終始笑顔をうかべられ、和やかで穏やかな桃畑訪問となりました。

まさひろ
南 祐宏さん

お出迎えの際に「2年ぶりですね」とお声掛け頂き、ふっと緊張がほぐれました。これからも安心・安全な桃を生産していきたいです。



南さんのご両親
ともすけ 友祐さん、はるこ 春子さん

「おいしい桃をありがとうございます」と言われたのですが、涙をこらえるのに精いっぱい、「ありがとうございました」とお答えするのがやっとでした。